

日本は〈誰〉にとって 暮らしやすい?

「しゃりんけんトークセミナー」は、南山大学社会倫理研究所が主催する学生のためのトークイベントです。妊娠・出産の話や、環境問題、労務問題など、社会には通常の授業では学びきれない課題がたくさんあります。そのため、本セミナーでは、社会人になる前に知っておいた方がよいこと・考えておいた方がよいことを、各分野の専門家がわかりやすく解説し、さらに参加者のみなさんとのトークセッションを通じて議論します。

演題：日本に暮らす外国人が置かれている状況について

日時：**2020年7月16日(木)**

社倫研Webページよりお申し込みください

3限目(13:30~15:00) 13:15より接続可

形式：**オンライン(ZOOMミーティングを使用)**

対象：**南山大学に所属する大学生・大学院生**



講師：**山下敏雅氏** (やました・としまさ)

(弁護士。東京弁護士会所属)

専門：過労死・過労自殺・労災事件、子どもの事件、
LGBT・セクシャルマイノリティ支援など

企画・コーディネータ：**森山花鈴** (南山大学社会倫理研究所)

日本には外国からきた多くの人たちが暮らしています。南山大学のみなさんも、日々たくさんの留学生とともに勉強しています。では、実際に、そうした人たちがどのような状況のもとで暮らしているのか、考えたことはありますか？日本で暮らす外国人が実際にはどんなトラブルに直面しているのか、何に困っているのか、そして、それに対して周りの人たちや社会に何ができるのか。これらについて考えるには、実際に起きていることをきちんと知ることが大切です。

今回は、弁護士として、これまでに、LGBTQをはじめとするマイノリティの人たちの支援に取り組んでこられた山下先生にお話を伺います。

